

小田原市都市計画マスタープランの改定について

1 改定の背景・目的

前回の改定（平成23年）から10年余りが経過する中で、人口減少・少子高齢化の更なる進展、豪雨による浸水被害など頻発・激甚化する自然災害、平均気温の上昇など気候変動による環境問題の顕在化、新たな感染症の脅威とそれを契機とした新しい生活様式への移行、人工知能（A I）やドローンなどの新技術を活用したまちづくりの展開など、社会情勢や都市計画を取り巻く環境は大きく変化しています。

都市計画マスタープランでは、これらの変化への対応方針を示すとともに、令和4年度からスタートした「第6次小田原市総合計画「2030 ロードマップ 1.0」」に掲げる将来都市像「世界が憧れるまち“小田原”」の実現に向け、新たなまちづくりの方針を定める必要があります。

また、現行計画は令和4年度末をもって計画期間の満了を迎えることから、改定するものです。

2 計画改定のポイント

- (1) 社会情勢の変化に対応したまちづくりの方針
- (2) 「第6次小田原市総合計画「2030 ロードマップ 1.0」」との整合
- (3) 「小田原市立地適正化計画」（平成31年3月策定）で掲げる「コンパクトなまちづくり」の反映
- (4) アンケート調査による市民意向の把握

3 小田原市都市計画マスタープラン改定案

別紙のとおり

4 改定日（案）

令和5年3月